

企業の社会的責任 (CSR)

ANAはCSR活動を、経営、環境、社会というトリプル・ボトムラインの3分野で、積極的に推進しています。2005年4月に「CSR推進委員会」を設置し本格的な活動を開始し、同年9月にCSRレポート2005を発行しました。

また、日本環境経営学会と環境経営格付機構が行う「サステナブル経営格付」に参加し、2006年6月に公表された第1回格付けでは、図表のような結果となりました。

経済活動

企業価値の継続的な向上を実現させていくために、「経営の透明性」を維持し、「ステークホルダーへの説明責任」を確実に果たしていくコーポレート・ガバナンス(企業統治)の構築を進めています。2006年3月期の実績については、6～7ページに掲載しておりますので、ご参照ください。

環境保全活動

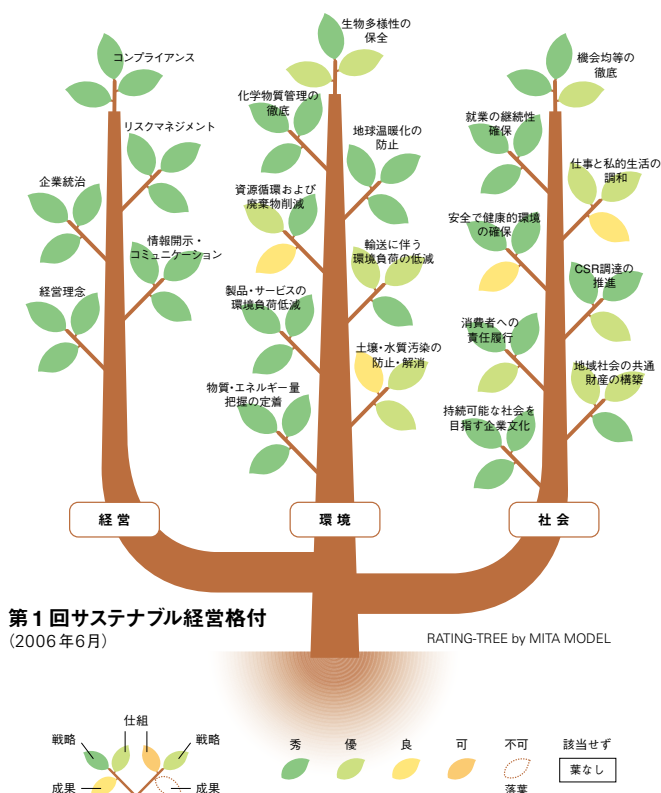
・ANAグループエコロジープラン

ANAは持続可能な社会を実現するために、環境経営の推進、地球温暖化対策、大気汚染対策、騒音対策、資源循環の実現、環境社会貢献活動の推進といった航空会社にかかわりの深い環境面の課題について改善を図る目的で、2004年3月期から2008年3月期を対象期間にした中期計画「ANAグループエコロジープラン」を推進しています。

・温室効果ガスを単位生産量当たり10.6%削減

航空会社は、現状では化石燃料以外の代替燃料がないため、燃料の有効活用によるエネルギー消費効率の向上に努めています。ANAは、エコロジープランで設定した「2008年3月期の座席キロ当たりCO₂排出量を1991年3月期と比べ12%削減する」という目標の達成に向けて種々の活動を行っています。

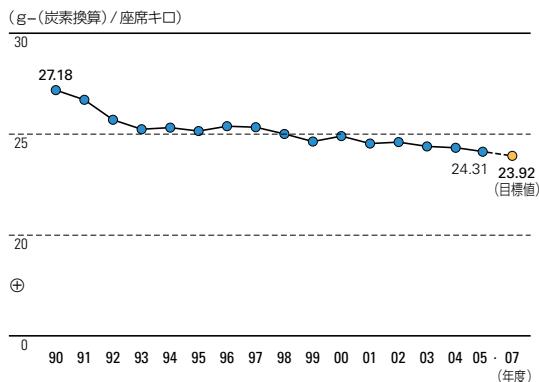
2006年3月期にANAの航空機が排出したCO₂は661万トンで前期に比べ0.3%削減しました。単位生産量(座席キロ)当たりでは、24.31グラムに削減され、基準年である1991年3月期と比較すると10.6%削減され、2008年3月期の削減目標の



23.92グラムにさらに近づきました。これは、機材のダウンサイジングを進め燃料消費量を削減したことに加え、より消費燃料の少ない高度や速度を選択して飛行するEFP*推進プロジェクトの推進や、エンジンの水洗による燃費向上策の実施など、さまざまな燃料節減対策の効果によるものです。ANAグループは「1991年3月期比で単位生産量当たり10%削減する」という経団連で定めた航空業界目標をすでに達成しています。

*EFP=Efficient Fuel Program

ANAの座席キロ当たりCO₂排出量



・航空機の更新で燃費効率化と低騒音化を推進

ANAグループは、航空機を最新式のボーイング737-700型機やボーイング777-300ER型機に更新を進めるとともに、シミュレーターの活用や運航方式の改善などにより、CO₂の排出抑制に努めています。さらにボーイング767-300型機に比べて20%程度燃料消費率がよいボーイング787型機を50機発注し、2008年から順次導入していきます。

また、飛行騒音の削減についてはANAグループエコロジープランで「2008年3月期までにICAO(国際民間航空機関)で定められた最も厳しい騒音基準であるチャプター4基準に適合する航空機に更新する」という目標を掲げていました。2006年3月にボーイング747SR-100型機が退役し、保有機のすべてチャプター4基準適合機となり、目標を達成しました。

環境社会貢献活動

・「私の青空」活動

ANAグループでは「私の青空」活動の下に、国際環境絵本コンクール、森づくり、サンゴ再生プロジェクトを3本柱とした環境社会貢献活動をしています。

・第3回「私の青空」国際環境絵本コンクール開催

環境社会貢献事業の一環として2003年から、ANAグループは「環境、自然、生物、資源について、あなたが大切にしたいことを絵本に」をテーマに「国際環境絵本コンクール」を始め、広く世界中から作品を募集しています。2006年1月に第3回「私の青空」国際環境絵本コンクールの審査・選考が行われ、余皓昕さん(香港在住)の作品が大賞に選ばれました。



第3回「私の青空」国際環境絵本コンクールで大賞を受賞した余皓昕さん(中央)と大賞作品「FOUR SEASONS (四季)」



・国内と海外で空港周辺の森づくり

国内の空港と海外の一部空港を対象に、地域の皆様とANAグループの従業員が一体となって、空港周辺の森づくりを行う計画を2005年3月期から進めています。2006年3月期までに13カ所で森づくりを実施しました。



らんこしの森 育林活動

社会貢献

・社会貢献基本方針

ANAグループは、ANAグループ行動基準の中で「社会の発展に対して十分な貢献をすることが責務である」ことをうたっています。

・スマトラ沖地震への被災地支援に小泉首相から

紺綬褒章を受章

2004年12月に発生したスマトラ沖地震への災害支援として、ANAグループは、役職員からの募金、寄付マイルを含め義援金3,355万円を拠出するとともに、医療支援者の無償輸送協力、食料や毛布などの災害支援物資の無償貨物輸送協力、さらに除雪液補給車を給水車に改造して寄贈するなど、積極的な活動を実施しました。この積極的な被災地支援への参画が高く評価され、2005年5月に小泉純一郎内閣総理大臣より紺綬褒章を受章しました。



スマトラ沖地震の被災地インドネシアへ給水車を寄贈